

2024年3月28日

住友電装株式会社

住友電装、四日市市の高校生とコラボし 三岐鉄道ラッピング車両の運行を開始

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、社長：漆畑 憲一、以下 住友電装）は、地域活性化への取り組みの一環として、四日市市の高校生によってデザインされたラッピング車両を、2024年4月2日（火）より三岐鉄道にて運行を開始します。



今回のプロジェクトは、住友電装が主体となり、地域の未来を担う若者たちが、本プロジェクトを通じて、地域への関心を高め、社会への参加意識を促進することを目的として実施しました。三岐鉄道三岐線の沿線にある四日市市内の高校（四日市高等学校および暁高等学校）の学生たちが参画し、「未来」をデザインコンセプトとして地域の魅力や想いを込めたデザインを発想してもらいました。未来をテーマにした高校生独自の視点から生まれたデザインは、力強さと希望にあふれた、地域のシンボルとなりうるデザインになりました。

学生たちのデザインが描かれたラッピング車両は、4月2日より運行を開始いたします。是非、ご利用の際には高校生のオリジナリティあふれるデザインと共に、将来への期待や創造力を感じていただければ幸いです。

住友電装は、基本理念として「Connect with the Best」を掲げており、今後も様々な取り組みを通じて地域社会との絆を深め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【掲出概要】

掲出場所	三岐鉄道三岐線車両（1編成の3両）
掲出期間	2024年4月～2026年3月末（2年間）を予定

以上

—ご参考—

◆住友電装について

住友電装は1917年に創業し、クルマの中のさまざまな機器をつなぎ、電力や信号をすみずみまで伝える「ワイヤーハーネス」を製造する世界トップクラスの企業です。時代のニーズを先取りする研究開発をベースに、カーメーカーをはじめとするお客様の期待に応えて、自動車用ワイヤーハーネスのほか、エレクトロニクス製品、ハイブリッド車・電気自動車用製品などの幅広い製品群を展開しています。これまでに培ってきた「つなげる、つなげる」技術を活かしてもっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしい次世代のモビリティ社会に貢献していきます。